

LOUVRE

ルーヴル美術館展 ルネサンス

Chefs-d'œuvre de la Renaissance du musée du Louvre
Masterpieces of the Renaissance from the Musée du Louvre

ジュニア
ガイド



2026.9.9 WED – 12.13 SUN 国立新美術館

●主催 | 国立新美術館、ルーヴル美術館、日本テレビ放送網、読売新聞社、BS日テレ ●後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランス
●特別協賛 | 野村證券 ●協賛 | 光村印刷、竹中工務店、ヴァシュロン・コンスタンタン、
日本郵政 ●協力 | 日本航空、エールフランス航空、KLMオランダ航空、日本貨物航空、
日本通運、TOKYO FM、日テレイベント ●企画協力 | NTVヨーロッパ

新

LOUVRE

0テレ
NIPPON TV

ルネサンスってどんな時代?

だいたい
15~16世紀の
ヨーロッパ



古代ギリシア・ローマがアツい!

ずっと昔にすぐれた文明を築いた古代の
ギリシアとローマの文化にみんな興味しんしん。
古代について知っているともわりの人にも
一目置かれたぞ!

飛び交う情報!

本や版画をたくさんつくれる印刷術が発達!
いろんな知識がすばやく伝えられるようになってきた。



みんなで 芸術を 応援!



商人や学者が活躍するようになったけど、
それまで芸術を支えていた王さまや貴族も、
これまでと同じように画家や彫刻家に
仕事をたのんでいたんだ。

美術作品はだいたいオーダーメイド

タテ2m、ヨコ1.5mの板に、
聖母子と聖アンナ、
聖ヨハネを描いて!
最高級の絵の具で、
予算はこのくらい…
納期は…

作品は注文主と芸術家のあいだで
すり合わせをして、内容や作風、
素材を決めるのがスタンダード。



あらわす内容を
すべて作り手が
決めているわけじゃ
ないんだ。

オーダーのこだわりポイントは…

作品を見る人を意識した注文主の工夫が詰まっているよ



異国のモチーフ

外国についての知識を
披露して、自国の外交力を強調!

ヴェネツィアの画家
《ヴェネツィア共和国の使節団を迎える
ダマスカス総督》 1511年頃 油彩 / カンヴァス
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) /
Gabriel De Carvalho /
distributed by AMF-DNPartcom

古代風

古代について
知っている博学な
人だともわりに
アピールできる

めずらしい動植物

古い書物に登場する
伝説的な動物だとなおヨシ

アルブレヒト・デューラー 《サイ》
1515年(初版) 木版
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) /
Michel Urtado /
distributed by AMF-DNPartcom

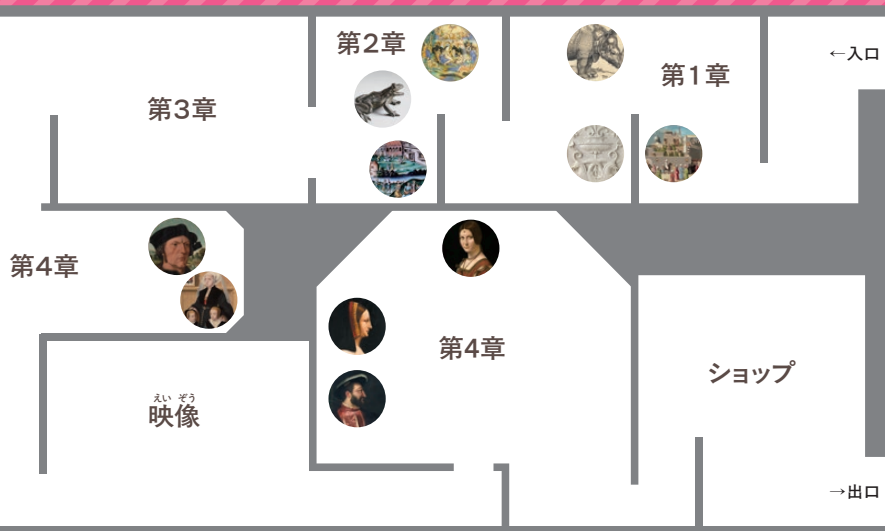


フランス、ノルマンディー ガイヨンのイタリア人装飾彫刻家の工房
《装飾レリーフ 3頭のイルカ・2匹のタツノオトシゴ・水盤・2本の豊饒の角・
炎の上がる鉢が左右対称に組み合わされた灯明台》 1510年頃 大理石
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) / René-Gabriel Ojeda / distributed by AMF-DNPartcom



高価な素材

注文主のリッチさが一目でわかるような
素材をどんどん使おう



てんじしつ
展示室でのおねがい

さくひん
作品にさわらないでください / ゆっくり歩きましょう / 話すときは小さな声で /
メモをとるときはえんぴつで / 写真・動画のさつえいはしないでください

どうやって作るの？ いろんな素材の作品たち

エマイユ

金属の表面にガラスを焼きつける



フランスの都市
リモージュの特産！

レオナルド・リモザンの工房 《装飾板「合奏」》
1560年頃 エマイユ画／銅
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) /
Maurice et Pierre Chuzeville / distributed by AMF-DNPartcom



マヨリカ陶器

焼き物の絵付けもカラフルに！



焼くとツヤツヤの白になるよ

それまでの焼き物より
たくさん色を使えるようになったんだ



フランチェスコ・クサント・アヴェツリ
《丸皿 プッチ家の紋章をあしらった
「ローマの顔」》 1532年 ファイアンス
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) /
Jean-Gilles Berizzi / distributed by AMF-DNPartcom

ブロンズと「自然からの型取り」

リアルすぎる動物のブロンズ像…



ヘビやトカゲも
使います



ブロンズが冷えて固まったら、
石こう型を取り除く

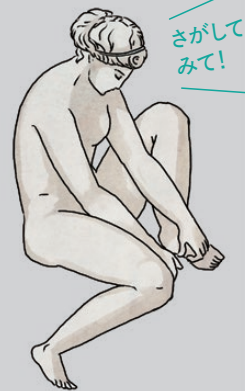
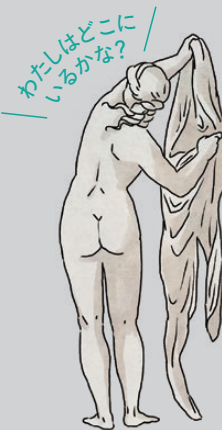
大きな生き物では、
いったんロウの型をつくってから
ブロンズにする
こともあるよ



北イタリア(?) 《小像「カエル」》 16世紀 実物から型を取りブロンズで铸造
Photo © Grand Palais Rmn (musée du Louvre) / Thierry Ollivier / distributed by AMF-DNPartcom

同じ絵が描かれてる…!?

よく見ると、ちがう素材の作品に
同じポーズの人の姿があるのに
気づいたかな？
すばらしい構図や美しい体の
ポーズは、素材のちがいを超えて
どんどん伝えられ、人気になって
いったんだ。





肖像画、
おねがい
しま〜す!

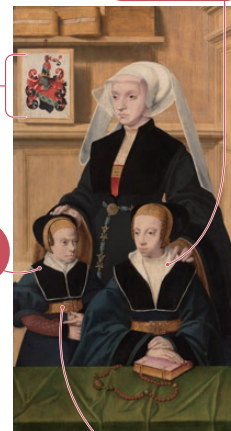
しょう どう かい

肖像画、なに描く? どう描く?

えか

うら じ
裏地が毛皮

もんしやう
紋章



ベルベットの
生地

きん
金のベルト

1 横顔で描く? ナナメから描く?

より
ナチュラル



古代ローマ文化をリスペクトする
イタリアでは、メダルにあるよう
な横顔の肖像が人気!

い げん
威厳がある

一方、よりリアリティを追求した
北ヨーロッパのネーデルラント
では、ナナメ前からの角度で
描くのが通例。



ただし、16世紀以降、だんだんお互いに影響を与え合って混ざっていくよ。



2 どのくらい実物に似せる?

家族のための肖像なら見てすぐ本人とわかったほうがよい
けれど、後世の人に自分の偉大さを伝えるための肖像なら、
多少「盛る」ほうが喜ばれそう。

ゆたかなおヒゲにかっぶくのよい体

これはフランス王本人への
プレゼントだから、アピール
したいしちょっと盛るか...



1

ナナメ前からの角度をベースに、
こちらに体を向ける動作の途中

ふとした
瞬間を
切り取る

2

身ぶりや表情を
通して、より現実的な
存在感を演出

3

あえて背景には
何も描かず、人物だけを
際立たせる

衣装は
1490年代の
北イタリア
ミラノで流行って
いたもの

ちょっとした
ジェスチャーや
目の動きから、
彼女が思っていることや
感じていることが
伝わるといいな



レオナルド・ダ・ヴィンチ 《女性の肖像》、誤って付された別称《美しきフェロニエール》
1490-1497年頃 油彩/板(クルミ) © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Michel Urtado

1. ロンバルディアの画家 《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》 1500-1512年頃 油彩/板(クルミ)
Photo © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Franck Raux / distributed by AMF-DNPartcom

2. ヤコブ・コルネリスゾーン・ファン・オーストザーネン、あるいは息子のディルク・ヤコプスゾーン《ヤン・ヘリッツゾーン・ファン・エフモント(1470年頃-1523年)の肖像》
Photo © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Tony Querrec / distributed by AMF-DNPartcom

3. ティツィアーノ・ヴェチェッリオ 《フランソワ1世の肖像》 1538年頃 油彩/カンヴァス
Photo © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Philippe Fuzeau / distributed by AMF-DNPartcom



お金を学ぶ。未来を拓く。

子どもたちには、自由に、めいっぱい
自分の人生を描いてほしいから。
お金を正しく学ぶことは、可能性を広げてくれる。
Nomuraはそう信じて、
1990年代から金融経済教育に取り組んでいます。
Nomuraだからこそ、できることを。

*Drive
Sustainability.*

NOMURA

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

[展覧会情報]

ルーヴル美術館展 ルネサンス

2026年9月9日(水)ー12月13日(日)

開館時間:10:00ー18:00

※毎週金・土曜日は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで

会場:国立新美術館 企画展示室1E

[展覧会公式ウェブサイト]

<https://www.ntv.co.jp/louvre2026/>

 本展は、政府による美術品補償制度の適用を受けています。

『ルーヴル美術館展 ルネサンス
ジュニアガイド』

執筆・イラスト:壺屋めり

編集:国立新美術館

デザイン:松永路

印刷:光村印刷株式会社

発行:国立新美術館、日本テレビ放送網

発行日:2026年9月8日

© 2026 国立新美術館、日本テレビ放送網

表紙 バルトロメウス・ブロイン(父)《カテリーナ・フォン・ガイル(旧姓フォン・ミュールハイム、1540年没)と二人の娘の肖像》1536-1537年頃(?) 油彩/板
Photo © GrandPalaisRmn (musée du Louvre) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom